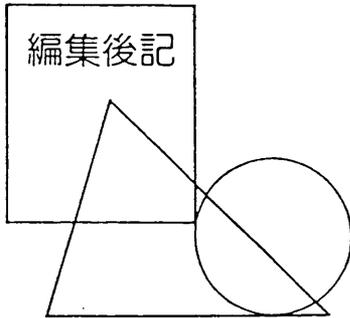


この5月、身体が“油ぎれ”をおこし、2週間の入院をしました。数千冊に及ぶ製本雑誌の大移動で心身ともに疲れ果ててしまった後のことです。

「ひとりで仕事を抱え込みすぎではいけない。時間内に片付けるのは難しいと思ったら、上司に相談し周りに助けを求めることも必要だ。」と数人の人から忠告されました。



図書館員の仕事は、一般に思われているよりはるかに重労働です。特に1人職場が多い病院図書室担当者は頑張りすぎると、精神的にも肉体的にも負担が大きくなります。

仕事は増え、人は減らされ、という話題が多い今日この頃、オーバーワークで疲れている図書室担当者は案外多いかもしれません。あまり無理をしすぎないように、少し肩の力を抜いてみませんか。

さて、この「病院図書室」が、担当者の皆様にとっての業務のマニュアルとなり、知識や情報の源にもなると同時に、仕事の合間に手にすれば、ホッと疲れが癒され、力が沸いてくるような読み物になるといいなあ、と思っています。

(大橋真紀子)

---

病院図書室 第15巻 第3号

季刊

1995年8月31日 発行

定価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒612 京都市伏見区深草向畑町1-1 国立京都病院図書室 気付

TEL (075) 641-9161 FAX (075) 643-4325

印刷所 (株)小西印刷所 〒663 西宮市今津西浜町2-60

TEL (0798) 35-1331 FAX (0798) 35-1333

---